

まえがき

本報告書は、緑化生態研究室が令和2年度に行った調査・研究の概要ならびに、当研究室のスタッフが令和2年度に学会や雑誌などで発表した論文を収録したものです。

令和2年度に実施した調査・研究課題は、大きく以下の4テーマに分類されます。

- ① 樹木の管理と更新に関する研究
- ② 生物多様性の確保に関する研究
- ③ 良好な景観の形成に関する研究
- ④ 公共空間の分析と計画に関する研究

「① 樹木の管理と更新に関する研究」では、道路植栽地の適正な維持管理に関する研究を実施しました。

「② 生物多様性の確保に関する研究」では、地域環境特性に配慮したのり面緑化工に関する研究を実施しました。

「③ 良好な景観の形成に関する研究」では、質の高い公共デザインの枠組みと進め方に関する研究、歴史まちづくりの取組促進に資するプラットフォームの構築に関する研究を実施しました。

「④ 公共空間の分析と計画に関する研究」では、グリーンインフラの機能の定量評価及び現況調査の手法に関する研究、東日本大震災からの復興に係る津波防災緑地等整備の状況とその効果に関する研究、都市における緑農環境保全の計画・実現手法に関する研究、AI や IoT 等の新技術を活用したパークマネジメント手法に関する研究、近代日本の都市基盤形成に影響を与えたオランダ人技師の計画技術の解明を実施しました。

また、これまでの研究の一部を以下の国土技術政策総合研究所資料（以下、国総研資料）にとりまとめました。

- ・「生物多様性の確保に結びつくみどりのまちづくりの実現に向けた市民参加生き物調査の実践・活用ガイド（令和2年6月）」（国総研資料第1113号）

緑化生態研究室は、地球規模の環境問題を踏まえつつ、自然と人間の共生する緑豊かな国土を形成し、国民が豊かさを実感できる生活環境を形成するため、今後も環境研究に邁進する所存であります。

皆様におかれましては、多岐にわたる当室の調査・研究の概要等を集約した本報告書を通じて、当室の取り組みへのご理解を深めていただくとともに、その成果が当室の担う目的の実現に着実に結びつくものとなるよう、引き続き変わらぬご指導をいただければ幸いです。

令和3年7月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター
緑化生態研究室長 大石智弘